

福岡市の家計

～平成13年家計調査より～

平成13年家計調査（主管：総務省統計局）
年報がまとまりましたので紹介します。

1. 調査の概要

家計調査は、国民生活の実態を明らかにし、経済政策や社会政策立案のための基礎資料を得るために、全国の世帯（単身世帯を除く）を対象に、家計収入や支出について家計簿をもとに集計したものです。現在、全国168市町村の8,076世帯を毎月調査しています。調査世帯は6か月間継続して調査され、毎月6分の1ずつが新たに選定された世帯と交代しています。全国単位の集計では、世帯主の職業別、年間収入階級別、住居の所有関係別などの資料も得られます。

家計調査では、住居及び家計を共にしている人の集まりを世帯とし、「全世帯」と、世帯主（家計費に充てるための収入を得ている人）が会社、官公庁などに勤めている「勤労者世帯」に分けて集計されています。

平成13年の福岡市の「全世帯」の調査対象は、年平均92世帯（世帯人員3.05人、有業人員1.22人、世帯主の年齢50.2歳）、「勤労者世帯」の調査対象は、年平均56世帯（世帯人員3.32人、有業人員1.45人、世帯主の年齢43.4歳）となっています。

（本誌の24、25表に福岡市分の毎月の調査結果 全世帯、勤労者世帯 を掲載しています。ご覧ください。）

表1 福岡市の1世帯当たり月平均の収入と支出 ～勤労者世帯～

項 目	平成12年		平成13年		増減率 (%)	平成13年 全国平均
	月平均額 (円)	構成比 (%)	月平均額 (円)	構成比 (%)		
集 計 世 帯 数	55		56			4,532
世 帯 人 員 (人)	3.42		3.32			3.47
有 業 人 員 (人)	1.44		1.45			1.66
世 帯 主 の 年 齢 (歳)	43.5		43.4			46.3
実 収 入	522,150	100.0	506,806	100.0	-2.9	551,160
経 常 収 入	513,801	98.4	491,996	97.1	-4.2	540,431
勤 め 先 収 入	501,718	96.1	468,273	92.4	-6.7	514,328
世 帯 主 収 入	467,978	89.6	432,908	85.4	-7.5	449,310
世帯主の配偶者の収入	28,689	5.5	31,030	6.1	8.2	52,949
他 の 世 帯 員 収 入	5,051	1.0	4,335	0.9	-14.2	12,070
事 業 ・ 内 職 収 入	2,589	0.5	3,876	0.8	49.7	4,322
他 の 経 常 収 入	9,495	1.8	19,847	3.9	109.0	21,780
特 別 収 入	8,349	1.6	14,810	2.9	77.4	10,730
実 支 出	411,210	100.0	434,437	100.0	5.6	421,479
消 費 支 出	331,178	80.5	354,822	81.7	7.1	335,042
食 料	67,293	16.4	65,626	15.1	-2.5	73,180
住 居	26,724	6.5	34,352	7.9	28.5	22,168
光 熱 ・ 水	20,715	5.0	19,894	4.6	-4.0	21,072
家 具 ・ 家 事 用 品	10,319	2.5	8,911	2.1	-13.6	11,319
被 服 及 び 履 物	15,983	3.9	18,365	4.2	14.9	16,192
保 健 医 療	9,006	2.2	15,512	3.6	72.2	10,760
交 通 ・ 通 信	43,789	10.6	49,529	11.4	13.1	43,955
教 育	20,683	5.0	15,318	3.5	-25.9	17,668
教 養 娯 楽	35,322	8.6	33,289	7.7	-5.8	33,522
そ の 他 の 消 費 支 出	81,344	19.8	94,027	21.6	15.6	85,206
非 消 費 支 出	80,031	19.5	79,615	18.3	-0.5	86,437
黒 字	110,940		72,369			129,681

資料：総務省統計局「家計調査年報」

2. 福岡市の勤労者世帯の収支

保健医療、住居が高い伸び

平成13年の福岡市の勤労者世帯の家計収支をみてみましょう。

まず「実収入」ですが、月平均506,806円で前年比2.9%の減少となっています。これは「経常収入」を構成する「勤め先収入」(468,273円、前年比6.7%減)が前年より大きく減少しており、「事業・内職収入」(3,876円、同49.7%増)及び「他の経常収入」(19,847円、同109.0%増)の増加を上回り、さらには「特別収入」(14,810円、同77.4%増)の増加を大きく上回っています。

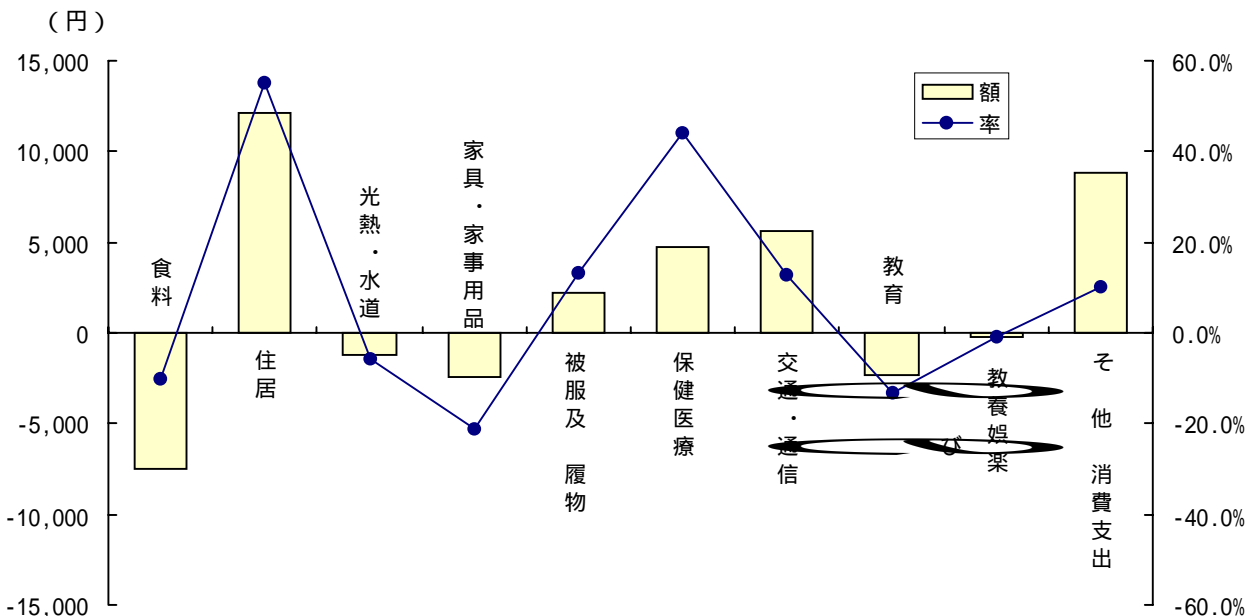
全国平均と比べてみますと、「特別収入」以外のすべての項目で平均を下回っています。

次に「実支出」ですが、月平均434,437

円で前年比5.6%の増加となっています。内訳をみますと、「非消費支出」は79,615円で前年比0.5%減とわずかながら減少していますが、「消費支出」は354,822円で前年比7.1%増と大きく増加しています。「消費支出」の中では、保健医療サービスなどの増加により「保健医療」が前年比72.2%の大幅増となったほか、「住居」(前年比28.5%増)、「被服及び履物」(同14.9%増)、「交通・通信」(同13.1%増)、「その他の消費支出」(同15.6%増)の計5項目で増加していますが、他の項目は減少しており、特に「教育」(同25.9%減)の減少率が大きくなっています。

全国平均と比べますと、「住居」、「その他の消費支出」、「交通・通信」、「保健医療」、「被服及び履物」の5項目で平均を上回っています。

図1 平成13年消費支出における全国平均との比較 - 勤労者世帯 -



用語の説明

実収入・・・一般に言われる税込み収入であり、世帯員全員の現金収入を合計したもの。

経常収入・・・定期性あるいは再現性のある収入。

特別収入・・・一般社会の慣行により他の世帯・団体から自発的に送られた現金。その他、配当金、退職金など。

消費支出・・・いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。

その他の消費支出・・・理美容用品、腕時計やかばんなどの身の回り用品、たばこなどの諸雑費及び交際費、仕送り金などの支出。

非消費支出・・・税金や社会保険料など世帯の自由にならない支出。

黒字・・・実収入と実支出との差であり、マイナスの場合は赤字ということになる。

エンゲル係数・・・消費支出に占める食料費の割合であり、生活水準の高低を表す一つの指標となる。

3. 福岡市民の暮らしの変化

交通・通信は3年連続の増加

家計調査の結果より、福岡市民の暮らしの変化をみてみましょう。

消費支出に占める構成比の推移をみますと、「食料」の占める割合（エンゲル係数）は前年に比べ2.0ポイント減少して20.6%となり、昭和50年と比べると10.4ポイントもの大きな減少となっています。また、「教育」（構成比3.4%）が2.5ポイント、「教

養娯楽」（同9.3%）が0.7ポイント、「光熱・水道」（同6.2%）が0.6ポイントとそれぞれ前年より減少しています。一方、「保健医療」（同5.0%）が2.2ポイント、「住居」（同9.1%）が1.7ポイント、交際費などの「その他の消費支出」（同25.6%）が1.5ポイントと前年に比べて大きく増加しています。また、「交通・通信」（同12.3%）は0.4ポイント増加し、平成11年以降3年連続で増加しています。

図2 福岡市の全世帯における消費支出の構成費の推移

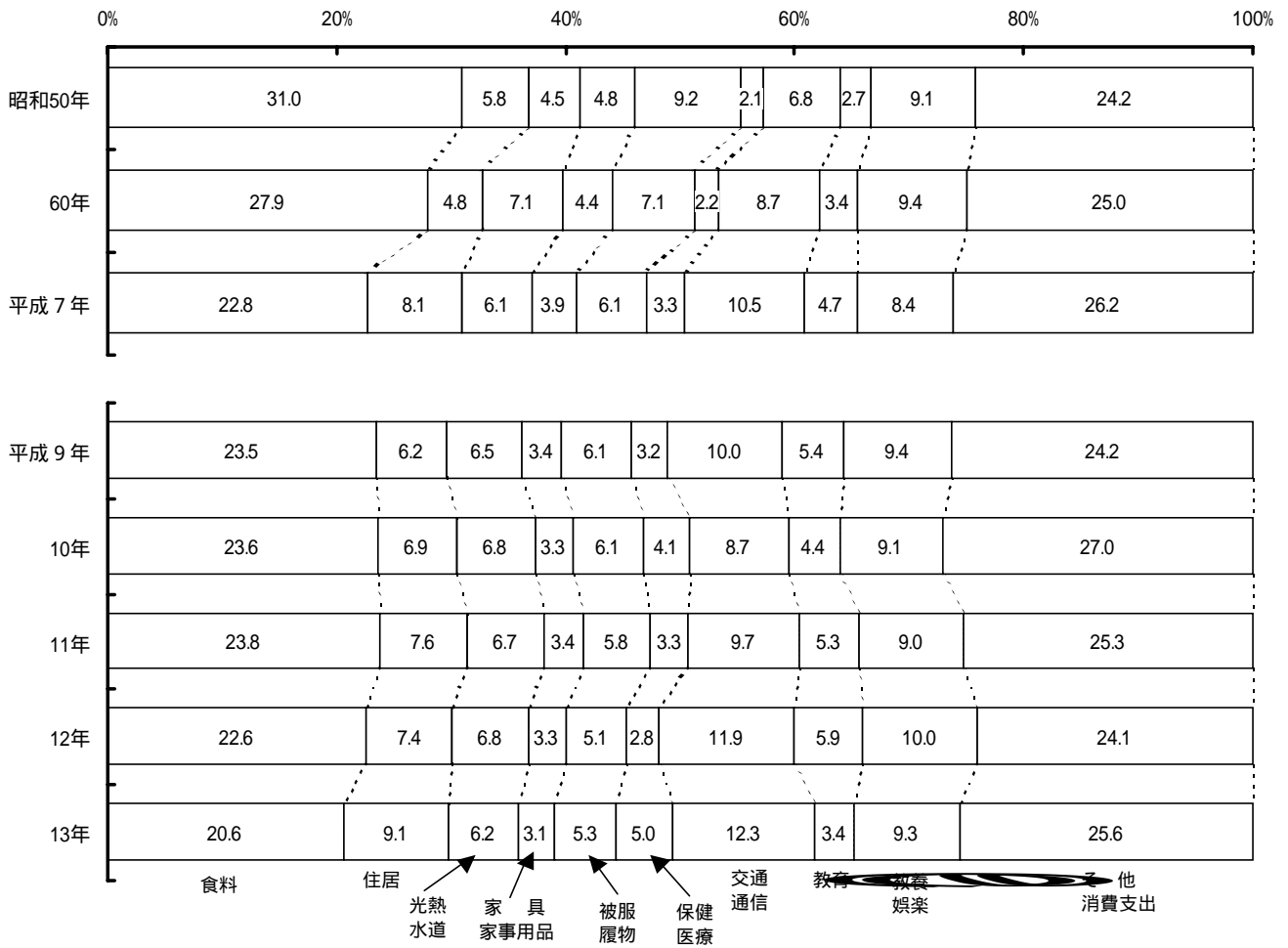


表2 福岡市の全世帯における月平均の消費支出の推移

(単位：円)

年次	合計	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服履物	保健医療	交通通信	教育	娯楽	交際費	他消費支出
昭和50年	161,214	49,954	9,298	7,239	7,662	14,894	3,307	10,904	4,323	14,618	39,015	
60年	265,452	74,125	12,639	18,883	11,596	18,725	5,789	23,164	9,021	25,073	66,437	
平成 年	319,834	72,889	25,925	19,586	12,500	19,559	10,462	33,548	14,924	26,770	83,671	
平成9年	320,445	75,234	19,767	20,877	10,911	19,636	10,391	31,924	17,318	30,067	84,320	
10年	309,736	73,112	21,493	21,067	10,164	19,008	12,636	26,963	13,611	28,093	83,589	
11年	300,237	71,551	22,901	20,156	10,286	17,397	10,015	29,086	15,835	27,067	75,944	
12年	306,470	69,173	22,764	20,835	10,027	15,779	8,732	36,473	18,221	30,626	73,840	
13年	312,869	64,313	28,626	19,463	9,781	16,491	15,721	38,521	10,765	29,228	79,962	

資料：総務省統計局「家計調査年報」

4. 大都市における消費支出

食料費支出は最小，保健医療は最高

家計調査の結果より、平成13年の13大都市における「消費支出」の月平均額をみますと、東京都区部が362,268円と最も多く、次いで川崎市(359,784円) 広島市(355,255円)となっており、福岡市は354,822円で4番目と大都市の中でも高い支出額になっています。内訳では、「保健医療」(15,512円)、「その他の消費支出」(94,027円)が大都市で最も高い支出額となっており、「食料」(65,626円)が大都市

で最少の支出額となっているのが特に目立ちます。

構成比をみてみますと、他都市と比べ「保健医療」(4.4%)、「住居」(9.7%)、「交通・通信」(14.0%)で高い割合を示していますが、逆に、「光熱・水道」(5.6%)、「家具・家事用品」(2.5%)、「教育」(4.3%)、「教養娯楽」(9.4%)は低い割合になっています。

次にエンゲル係数(消費支出に占める食料費の割合)を比べてみますと、福岡市は18.5%と、大都市の中で最も低くなっています。

表3 平成13年大都市における1世帯当たり月平均の消費支出 - 勤労者世帯 -

(単位：円)

都市	合計	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	その他消費支出
札幌市	342,975	70,164 (20.5)	26,003 (7.6)	21,276 (6.2)	9,991 (2.9)	15,897 (4.6)	11,964 (3.5)	54,051 (15.8)	20,744 (6.0)	34,316 (10.0)	78,570 (22.9)
仙台市	308,764	69,385 (22.5)	20,206 (6.5)	21,507 (7.0)	10,247 (3.3)	17,019 (5.5)	11,239 (3.6)	34,479 (11.2)	16,886 (5.5)	32,240 (10.4)	75,557 (24.5)
千葉市	343,458	74,672 (21.7)	20,276 (5.9)	19,902 (5.8)	10,152 (3.0)	16,149 (4.7)	10,535 (3.1)	47,924 (14.0)	26,026 (7.6)	39,384 (11.5)	78,438 (22.8)
東京都	362,268	80,102 (22.1)	38,259 (10.6)	21,559 (6.0)	11,389 (3.1)	18,822 (5.2)	12,091 (3.3)	39,458 (10.9)	26,282 (7.3)	40,838 (11.3)	73,468 (20.3)
川崎市	359,784	78,913 (21.9)	28,151 (7.8)	22,331 (6.2)	8,664 (2.4)	17,435 (4.8)	9,172 (2.5)	59,599 (16.6)	19,140 (5.3)	37,768 (10.5)	78,612 (21.8)
横浜市	349,458	80,282 (23.0)	26,769 (7.7)	21,433 (6.1)	11,805 (3.4)	18,518 (5.3)	11,093 (3.2)	44,459 (12.7)	21,366 (6.1)	37,842 (10.8)	75,890 (21.7)
名古屋市	324,827	75,393 (23.2)	15,563 (4.8)	21,211 (6.5)	11,010 (3.4)	16,292 (5.0)	8,698 (2.7)	48,928 (15.1)	14,954 (4.6)	33,669 (10.4)	79,107 (24.4)
京都市	331,812	77,880 (23.5)	16,323 (4.9)	20,965 (6.3)	10,453 (3.2)	15,025 (4.5)	15,482 (4.7)	46,162 (13.9)	19,057 (5.7)	34,944 (10.5)	75,518 (22.8)
大阪市	318,782	73,052 (22.9)	31,380 (9.8)	20,212 (6.3)	8,488 (2.7)	14,709 (4.6)	10,273 (3.2)	36,209 (11.4)	25,849 (8.1)	30,318 (9.5)	68,290 (21.4)
神戸市	327,449	79,753 (24.4)	16,234 (5.0)	19,630 (6.0)	10,606 (3.2)	18,351 (5.6)	12,039 (3.7)	42,486 (13.0)	17,187 (5.2)	34,825 (10.6)	76,338 (23.3)
広島市	355,255	72,269 (20.3)	20,675 (5.8)	21,240 (6.0)	12,129 (3.4)	18,547 (5.2)	11,552 (3.3)	49,171 (13.8)	21,675 (6.1)	35,672 (10.0)	92,324 (26.0)
北九州市	296,879	70,686 (23.8)	22,554 (7.6)	18,849 (6.3)	9,716 (3.3)	14,595 (4.9)	9,171 (3.1)	33,344 (11.2)	7,891 (2.7)	27,182 (9.2)	82,892 (27.9)
福岡市	354,822	65,626 (18.5)	34,352 (9.7)	19,894 (5.6)	8,911 (2.5)	18,365 (5.2)	15,512 (4.4)	49,529 (14.0)	15,318 (4.3)	33,289 (9.4)	94,027 (26.5)

資料：総務省統計局「家計調査年報」

注1) ()は消費支出に占める割合(単位：%)

注2) 「東京都」は東京都区部